

シグマ研究委員会光核反応データWG 1991年度第2回会合議事録

日時： 1991年10月31日(木) 13:30 - 17:00

場所： 原研本部 No. 3 会議室

出席者： 浅見、井口、井頭、五十嵐、岸田、小林、千葉、村田

欠席者： 喜多尾、北沢、肥田

議事：

1. 評価関連事項

- (a) 岸田委員より、Pauli-Blocking の効果をきちんと取り入れた QDM 断面積の計算法が、資料 PNWG-91-13 に依り紹介された。
- (b) 井口委員より、資料 PNWG-91-12 に依り Varlamov *et al.* の論文の解説がなされた。

2. 評価中間報告

- (a) 千葉委員より光核反応断面積ファイル構造案の紹介があり、特に問題点は認められないので、この案を承認した。
- (b) 井口(²⁰⁸Pb)、五十嵐(²⁰⁹Bi)、岸田(²⁷Al)、村田(¹⁶O)の各委員より光核反応断面積の評価状況、問題点と今後の評価方針が報告された。

3. その他

- (a) 浅見委員より、MAT No. を決定した方が良いのではないかとの意見が出されたが、他のファイルとの整合性をとるために、JNDC の編集委員会で検討して貰うこととした。

4. 次回予定

- (a) 次回は平成4年1月29日(水)に原研本部で開催予定。
- (b) 主な内容は、
 - i. 各委員より実験データ評価の結果報告及び理論評価中間報告。
 - ii. 岸田委員より光弾性散乱断面積の計算例の紹介。
 - iii. 村田委員より Hebach の論文の紹介。

配布資料：

- PNWG-91-12 : V. V. Varlamov *et al.* 論文 “制動放射及び準単色 γ 線を用いた光核反応実験データ間の食違いに関する考察” の解説メモ (井口)
- PNWG-91-13 : M. B. Chadwick *et al.* 論文 “Pauli-Blocking in the Quasi-Deuteron Model of Photoabsorption”
- PNWG-91-14 : PICA コードによる $^{16}O(\gamma, xn)$ 断面積 (岸田)
- PNWG-91-15 : Chadwick *et al.* に基づいた ^{27}Al の QDM 断面積 (岸田)
- PNWG-91-16 : $^{208}Pb(\gamma, 2n)$ の C/E 改善 (井口)
- PNWG-91-17 : 光核反応データ — 209Bi — (五十嵐)
- PNWG-91-18 : 光核反応断面積ファイル構造案の紹介 (千葉)